

## 佐藤信秋 参議院議員の講演要旨

日時 令和4年2月15日(火) 11:40~12:00

### 配布資料

1. 「総合評価での賃上げ企業に加点措置」関連の新聞記事（建通 R4.2.9）
2. 信秋タイムズ（国政報告第18号 2021.12 発刊）4頁  
国土強靱化5か年加速化対策、建設産業の改善・新3Kへの分配、設計業の質の改善・新3Kへの分配（営業利益率、技術者単価、低入札調査基準）、公共事業予算推移

### 講演要旨

品確議連総会は、技術者単価、低入札調査基準等の要望があって、例年より早い1月18日に開催された。岸田政権の成長と分配の中で、成長の方は強靱化の方で頑張ろうということで、分配の方は12月中頃に賃上げの会社へ総合評価入札方式で加点として使うことになった。これはよく考えると大変な問題をはらんでいて、建コン協が分断するかもしれない。何故なら、賃上げできる会社は優遇されるからいいが、難しい会社は加点されない。賃上げできる会社がどれくらいあるのか疑問だ。加点措置は、多分政権が続く限り少なくとも5年は続く。一度、建コン協がAブロックとBブロックに分かれてしまうとずっと続いて復活が難しくなる。最初ぐらいは皆一緒に走れるようにすべきだ。

1月18日頃から皆さんの疑問に火がついた。入札で、「あなたはいいけど、あなたはダメ」ってこれはまともな政策ではない。入口から変えないといけない。努力すれば入れる仕組みでやらないといけない。皆が走れるようにすることが大事である。入口を変えるべきだと言って交渉し、いろんな入り口を設け、皆が手を挙げられるようにした。皆で参加できるようにしていかないと協会の分離を招くことになる。

今後の取り扱いが難しいが、建コン協が大企業、中小企業の意見を取りまとめて整理して4月から皆で一緒に走れるようにして頂きたい。

（以下は、財務省とのやりとり、昨年のワクチン接種費用のお話が大半ですので省略します）